

第 3 章 調査項目の選定

3.1 調査項目

3.1.1 調査項目の選定

川辺川ダムの事業計画、五木村及び相良村の地域の特性を踏まえ、川辺川ダム事業において事業の影響の詳細な検討が必要と想定された環境要素について、調査項目として選定し、事業の影響や必要に応じて保全措置等の検討を行った。

選定した調査項目は表 3.1-1 に示すとおりである。

表 3.1-1 川辺川ダム建設事業における調査項目

環境要素の区分		影響要因の区分	工事の実施	土地又は工作物の存在及び供用
大気環境	大気質	粉じん等	○	
	騒音	騒音	○	
	振動	振動	○	
水環境	水質	土砂による水の濁り	○	○
		水温		○
		富栄養化		○
		溶存酸素量		○
		水素イオン濃度	○	
土壌に係る環境その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質		○
動物		重要な種及び注目すべき生息地	○	○
植物		重要な種及び群落	○	○
生態系		地域を特徴づける生態系	○	○
景観		主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観		○
人と自然との触れ合いの活動の場		主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○	○
廃棄物等		建設工事に伴う副産物	○	

注) ○印は選定した調査項目を示す。

「工事の実施」は、以下「工事中」という。

「土地又は工作物の存在及び供用」は、以下「ダム供用後」という。